

Bibliophiles

ビブリアファイルズ No.4(2018年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館

(ここで紹介するのは新しい本の一部です。)



『ようこそ実力主義の教室へ』

(小説版)

衣笠 彰梧

マンガ版もカウントすれば、累計発行部数が 150 万部を超えた人気作のライトノベルです。また去年、テレビアニメ化されて放映されました。

「自由」で「希望する就職・進学先にほぼ 100%応えてくれる」という、一見すると楽園のような高校が舞台です。しかしこの高校には謎の面が多く、権利や利害をめぐる争いがいつも巻き起こるのです。そこで主人公の男子高校生は自分の真の実力を隠し、うまく立ち回ろうとしますが・・・

『ちーちゃんはちょっと足りない』

阿部共実

2014 に文化庁メディア芸術祭マンガ部門・新人賞を受賞、また翌年には「このマンガがすごい! オンナ編」の 1 位を受賞した作品です。ということで高く評価されたマンガなのですが、かなり個性的で独特の「味」があります。読み手を選ぶ作品ですね。

主人公の「ちーちゃん」は体が小さく、勉強が苦手。でも周囲が支えてそれなりに学校生活ができていたのですが・・・

『パーソナリティ障害』

岡田尊司

ハリウッド女優のウィノナ・ライダーは、かつてお金に困っていないのに万引きをして逮捕されました。この本の著者によると、彼女には「境界性パーソナリティ障害」の傾向があるそうです。実はこの病気を持つ人は全人口の 2% にものぼり、また自殺する人の割合は「うつ病」に比べて 2 倍近くもあります。

この本では、ほかにも賞賛だけが欲しい「自己愛性パーソナリティ障害」や、人を心から信じることができない「妄想性パーソナリティ障害」などが、有名人の実例などと共に紹介されています。

『学校では教えてくれない

差別と排除の話』

安田浩一

「朝鮮学校をぶっつぶせ」などと叫ぶ在日韓国人へのヘイトスピーチ、中国人労働者を時給三百円・勤務は午前 1 時までと奴隷のようにこき使う日本の会社、日本の国土の 0.6% の沖縄県に米軍専用施設の 70% を押しつけている日本政府・・・こういった「差別」について、ネットでは多くの間違った情報が流れてますので、ぜひ紙の本も読んでみて下さい。

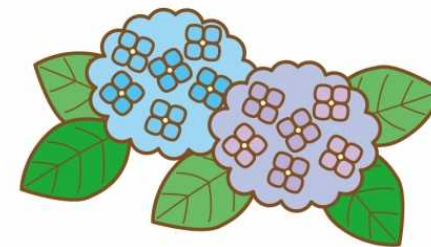
『数学ガール ポアンカレ予想』 結城 浩

2000 年にアメリカのクレイ数学研究所によって賞金 100 万ドル (1 億円以上) の懸賞金がかけられた 7 つの問題。そのうち、ただひとつ解決されたのが、この本の題名にもなっている「ポアンカレ予想」です。しかしこれを解いたロシア人数学者グリゴリー・ペレルマンは、なぜかクレイ数学研究所の受賞も、また「数学のノーベル賞」とも言われるフィールズ賞をも辞退してしまいます。この謎めいた数学者が解決した「ポアンカレ予想」とは?

今回の数学ガールは、宇宙や 3 次元空間などについてのお話です。

『AI vs.教科書が読めない子どもたち』

簡単な算数の問題です。「四角形の各頂点からの距離の和が最小になる点は何か?」そう、答は「対角線の交点」なのですが、意外にもスーパーコンピュータに聞くと答がでなかったそうです。世の中には「AI がやがて人間からことごとく仕事を奪ってしまう」と思い始めている人は少なくないでしょう。しかしこの本の作者によると、AI には苦手な分野があるそうです。その苦手分野を磨けば、AI も恐くない!? ちなみに、作者は東大合格を目指す AI 「東ロボくん」の製作に関わっていますが、東ロボくんの偏差値は「関関同立」レベルで、今後も「東大に合格する日はやってこない」のだそうです。



図書館からのお知らせ

☆月に 1 回くらいのペースで読書会を開いています。誰でも参加できますので、日直からのお知らせを参考にして下さい。
☆今年から、昼休みも生徒 (図書委員) による貸出作業を始めました。お気軽に図書館に寄ってみて下さい。

☆『数字で救う! 弱小国家』『賭博師は祈らない』など色々予約で購入しました。

『水滸伝』

井波律子 訳

言わずと知れた「中国四大奇書」のひとつ、水滸伝の新訳にして完全版が去年出ましたので、購入しました。話し言葉を基調とした、読みやすい訳です。

ストーリーは、さまざまな理由で世間からはじき出された男たちが国の悪徳官吏と闘う、というもの。「アウトロー (無法者)」を描いた点で、英国のロビン・フッドの物語にも似ています。横山光輝によるマンガ版や、抄訳 (縮小版) もありますので、あわせてご利用いただければ理解が深まると思いますよ。

新井紀子

今号のひとこと

Nel mezzo del cammin di nostra vita
mi ritrovai per una selva oscura,
ché la diritta via era smarrita.
ひとの人生の道なかばにして
正しい道を見失い、
私はいつしか暗黒の森のただ中にいた。

ダンテ・アリギエーリ (1265-1321)

世界文学史上屈指の傑作と言われるダンテの『神曲』の冒頭です。読者に有無を言わずにファンタジーの異世界 (暗黒の森) に連れていく筆力は、さすがですね。ちなみに「叙事詩」なので韻 (いん) を踏んでます。

6/14 の芸術鑑賞会では、この『神曲』の地獄篇に登場するある人物をコミカルに描いたオペラ『ジャンニ・スキッキ』を観ます。ダンテの名も最後に登場しますよ。